

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 杉原雅行	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	こころの医療センターによる精神科救急医療の実施		
目的	(1) 対象	精神科の救急医療を必要とする人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	緊急に医療を必要とする方に、休日及び夜間において、適切な医療を提供する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 時間外診療件数	目標値		180.0	180.0	180.0	180.0	人
		取組目標値						
	式・定義 時間外診療件数	実績値	208.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	0	0
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

施設上の工夫(救急専用出入口の活用)により、休日夜間等緊急時の診療を行うとともに、精神科救急情報センターでは24時間体制で相談に応じ、緊急時対応や早期受診の促進に取り組んでいる。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

県下の精神科救急医療機関のセンター的機能及び各二次医療圏域精神科医療機関のバックアップ機能を果たしているとともに、精神科救急情報センターとして24時間体制で相談に応じており、精神科の救急医療を必要とする患者に適切な医療を提供している。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

引き続き時間外の診療体制を維持していくため、医療従事者の確保が重要である。

②困っている状況が発生している「原因」

医療従事者の確保が全国的に困難な状況が続いている。

③原因を解消するための「課題」

精神科医をはじめとする医療従事者の安定的な確保が必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

関係大学や(一社)しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努め、必要に応じた勤務環境の改善を行いながら24時間診療体制を維持し、引き続き適切な救急医療を提供していく。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。